

少しずつ活動を開始！！

大原事業所

神戸海洋博物館の中にあるカワサキワールドへ行きました。



バイクに乗りました



レストランでの食事



体験型展示室の列車内

志手原事業所

就労移行は姫路城へ
就労継続支援B型は明石海峡大橋へ行きました。



姫路城

明石海峡大橋

サービス向上委員会報告

令和5年2月3日に大原事業所会議室にてサービス向上委員会を開催しました。主な質問・回答の概要は次の通りです。

【支援関係】
コロナ禍で難しいが、落ち着けばクリスマス会などイベントを再開して欲しい。
5月8日に2類から5類に移行されるにあたり、国の動向に注視しながら状況に応じて対応を行っていきます。

【サービス・運営関係】
ショートステイやグループホームを開設して欲しい。
第三期中期運営計画に示してある通り、法人の健全経営を基本に社会情勢の変化等を勘案し検討していきます。
土日に開所して欲しい。

受給者証に記載された日数での利用となり、毎週土日を利用すると平日休む必要が出てくる日があり職員配置も難しくなります。土日にバザーや研修に出た職員は、平日振替休日をとるため、現状では難しいと思われます。
休みが長く続くと生活リズムが崩れがちになるため、ゴールデンウィークなどは利用できる日を設けて欲しい。

年末年始休暇を除き、休所が連続して6日続く場合は、間の1日を営業するようにしています。
作業工賃を上げて欲しい。

内職作業と比較すると、施設外での作業は収入が高いことから、新規施設外作業の開拓を行うと共に農福連携の拡充や製菓品売り上げ向上による工賃アップが出来るよう努めています。

手作りの椅子を頂きました。

3月16日(木)兵庫県立高等特別支援学校の生徒さんが授業で作った防水塗料を塗布した手作り椅子を頂きました。



外で待つのが良い季節です

高校2年生の生徒さん先生が持って来られました。

送迎を待っている間に座るのに丁度よく、早速座って送迎車を待ちました。
ありがとうございます。

風 後援会より

いつも温かいご支援をいただきまして、ありがとうございます。
令和5年度 風後援会総会は対面形式で開催することになりました。

日時 6月3日(土)
13:30~15:30
場所 大原事業所 食堂
内容 定期総会(50分)と研修会(60分)

研修会は「障害者が地域で生き生きと暮らすために」をテーマにして、奥施設長に講演をしてもらいます。利用者さんの活動の様子も、写真を交えて紹介する予定です。
たくさんの参加をお待ちしております。

これからの予定

5月 事業所交流ハイキング

わくわく通信

発行 社会福祉法人 風
障害福祉サービス(多機能型)
三田わくわく村

〒669-1515 三田市大原 1546-5
(TEL)079-564-0909
(FAX)079-564-8500

(e-mail) sanda.wakuwakumura@giga.ocn.ne.jp
(Hp アドレス) <http://sandawakuwakumura.com/>

令和5年度 社会福祉法人風 三田わくわく村 入所式

おめでとうございます

今年の桜の開花は平年よりかなり早く、観測史上最も早い記録でした。

今年度は2名の新入所者を迎え、華やかな満開の桜の下で入所式が行われました。

毎年10名程度の新しい仲間を迎えてきましたが、今年度は、神戸特別支援学校から1名(大原事業所)と、他事業所から1名(志手原事業所)を迎えることとなりました。

新型コロナウイルス感染の扱いも大きく変わってきましたが大事を取って、今年も事業所単位での入所式としました。入所式には、事業所の仲間の皆さんが温かく出迎える中、新しく入所される利用者さんの決意のことばや、ご家族からのご挨拶、担当職員の紹介など、記念に残る入所式になったと思います。

5月には、新しくお迎えした利用者の方の歓迎と交流を深めるため、4年ぶりに全ての利用者さんが参加する「事業所交流ハイキング」を行います。

また、コロナ禍で出来なかった、利用者さんが楽しみにしている一泊研修旅行や秋祭りなどの行事を、今年は是非実施したいと思っています。

新規入所の皆さんが1日も早くわくわく村に慣れ、充実した活動が送れるよう職員一同頑張りますのでよろしくお願い致します。

希望の30周年へ、そして更にその先へ ——少子化、高齢・重度化、地域共生化の波濤——どうするわくわく村 副題 SGD11:住み続けられるまちづくり

過日の法人研修会で、現下の厳しい経営実態が報告された。その概要は、県下800法人の内、約3割が赤字経営。これらの法人には、合併や事業譲渡が求められる。また、その前段として、複数法人が共同で業務を行い「スケールメリットの導入、コスト削減」や、他法人が保有する「サービス資源、ノウハウの共有」など、経営基盤の強化に向けた社会福祉連携推進法人の設立、参画が促されました。

わくわく村は、健全経営を堅持しつつ、6つの事業所・7つの障害サービス事業を約150人の利用者に提供してきた市内最大規模の多機能事業所として今日まで発展を続けており、今後もその責任と使命は益々大きくなっていきます。

一方、私達を取巻く社会の前途には、未曾有の少子化(利用者の減少)や利用者の高齢・重度化とともに、障害者・児も地域社会の一員として様々な役割を担う地域共生化等、大きな変革(波濤)が渦巻いています。

これらの波濤を乗り越えて、希望の30周年へ、そして更にその先へ。わくわく村が挑戦する道筋(経営分析、業務改善、新たな仕組みなど)を次回通信から順次掲載しますので、ご意見等をお寄せください。

参与 長田 武彦

本町事業所

武田尾の廃線跡を歩き、爽やかな汗をかきアイスクリームを食べました。



武田尾廃線跡

アイスクリームおいしかったー

すずかけ台事業所

生活介護はキリンビール工場
就労継続支援B型は有馬富士公園
自立訓練は神戸メリケンパークへ行きました。



生ビールを頂きました

有馬富士公園に記念撮影



BEKOBEをバックに記念撮影

武庫川の桜の通り抜け

晴天に恵まれみんなで久々のお花見をしました。新型コロナウイルス感染が落ち着いたのでたくさんの方が桜を見に来ていました。



少し汗ばむ中武庫川の河川敷を歩きました

風 後援会からご入会をお願い

社会福祉法人風後援会は、知的障害者の自立と三田わくわく村の発展を願って平成7年に発足し、寄付活動や理解啓発活動を進めています。

毎年皆様のご入会(ご寄付)により、送迎車両の購入や雨よけ上屋の整備など、利用者の皆さんの活動環境整備を進めています。

今後、一層活動の輪が広がりますよう本会の趣旨にご賛同いただき、ご入会賜りますようよろしくお願い申し上げます。

なお、今年度より事業所等のみなさん方にもご支援いただきたく賛助会員の入会をお願いしています。

個人年会費 1口 1,000円
事業所等賛助会費 1口 3,000円 振込先は下表のとおりです

金融機関	支店名	口座番号
ゆうちょ銀行		01110-3-66308
三井住友銀行	三田支店(店番391)	普通 3808145
三井住友銀行	ウッディタウン出張所(店番395)	普通 3120072

名義は全て『社会福祉法人風後援会』です

【お問い合わせ】
「風」後援会事務局 三田わくわく村大原事業所内
〒669-1515 三田市大原梅ノ木 1546-5
☎079-564-0909

令和5年度活動方針

この1年を顧みると、世界的にはロシアによるウクライナ侵攻や新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、物価高騰や原油高、そして円安の加速など、さらなる課題を突き付けられた年となりました。

しかし、行動制限の緩和が続く中で、社会経済活動が正常に戻りつつあることから、景気は緩やかに持ち直し基調が見込まれており、出口の見えなかったトンネルようやく光が見えてきたところです。

また、明るい話題もありました。3月にはWBCで、日本が14年ぶりに世界一に輝きました。たくさんの感動と勇気を頂き、チーム一丸となって目標に向かっていく姿勢や仲間を信じる大切さ、最後まで諦めない気持ちを持ち続ける素晴らしさを改めて再確認出来ました。

特に社会に甚大な影響をもたらした新型コロナウイルス感染症は、ウィズコロナにおける感染症対策のあり方として行動制限を設けず、いかに共存するかという新たなステージへと移行しつつあります。令和2年1月に国内で感染者が確認されてから、全国的に新型コロナウイルス感染症への対応に翻弄された3年間を過ごしてまいりました。

混沌とした予測不可能な時代こそ新たな発想や価値を見出すチャンスであると考え、利用者・保護者の皆様、地域や関係機関の皆様の声に耳を傾けながら、なすべき施策を引き続き進めてまいります。

令和5年度は、中期運営計画の2年目となります。計画に掲げた施策を捕捉し、定期的な進捗管理を実施し、着実な効果や成果につなげてまいります。

新年度の具体的な方針として、自立生活を支える支援サービスの充実を運営の柱に据え、法人運営では「任期満了を迎える役員体制の構築」と「組織ガバナンスの充実を図る」と共に「事業運営の透明性の向上」、「財務規律の強化」に努め、経営組織の充実に取り組んでいきます。

また、今年度はわくわく村の直面する課題や社会が要請する命題に対して、6つのプロジェクトチームを作り、先導的に検討を進めてまいります。

営農組合と連携した黒豆の刈取



製菓作業の様子

プロジェクトチーム	取組内容
BCP 策定委員会	自然災害や感染症の流行など緊急事態がいつ発生するか分からない状況にあります。災害発生時には適切な対応により、発生後も利用者に必要なサービスを継続的に提供する体制の構築に向けたBCP(事業継続計画)を策定します。
地域における公益的な取り組み	日常生活または社会生活上の支援を必要とする地元校区内の住民に対し、需要に応じた日常生活支援(買い物の移動支援等)サービスなど、地域主体の活動に参画する公益事業に取り組めます。
高齢化に向けた対応	わくわく村の就労継続支援B型事業において、50歳以上が18%を占めています。1日外作業や立ち作業は身体的にもハードワークで、高齢化に向けグループ化など、日中活動のあり方を検討します。併せて、共生型サービスの導入についても検討します。
農福連携の推進	現在取り組んでいる農福連携事業の拡大のほか、地域の空き農地を利用(賃借)して自前で出来る農業を検討していきます。また、製菓作業とコラボして農産物の生産や加工品の生産を検討していきます。
多機能事業所としての役割	自立訓練事業及び就労移行支援事業については、利用期間が限定されており、定員を満たす事が難しい状況が続いています。安定した運営に向け、多機能事業所としてニーズを確認しながら、今後の役割と使命を検討します。
製菓品売り上げ向上に向けた取り組み	製菓品については、コロナの影響もあり販路が縮小し売上げが減少しています。新商品の開発や販路拡大など、どのような改善が必要なのか、発想を大きく転換していきたいと思えます。併せて、一定のルールの下でイベント時のバザーへ参加できるように、志手原事業所の利用者から調整し、将来的には他事業所の利用者も参加できるように検討していきます。

なお、日中活動や専門的な支援の充実に引き続き取り組みながら、新たな方向性や可能性を探り、今後も選んで頂けるように、魅力があり地域に根差した施設を目指して取り組んでまいります。

施設長 奥 貞晴

令和5年度職員配置 (役職、リーダー)

事業所等	役職	氏名	主な取り組み
経営・管理者	理事長	西田 孝夫	<ul style="list-style-type: none"> 施設全体のマネジメント業務 経営分析、業務改善 適正かつ効果的な法人運営 新たな仕組みづくり
	参与	長田 武彦	
	施設長・理事	奥 貞晴	
総務課	課長補佐	高原 亜理沙	<ul style="list-style-type: none"> 組織ガバナンスの強化 事業運営の透明性の向上 財務規律の強化 BCP作成
	シニアリーダー	佐々 孝	
大原事業所	管理者・サービス管理責任者	家次 寛治	<ul style="list-style-type: none"> 機能訓練の充実 音楽療法・動作訓練など療育活動の拡充 自閉スペクトラム症者への支援の充実
	生活介護リーダー	谷村 奈智	
志手原事業所	管理者・サービス管理責任者	小田 聖子	<ul style="list-style-type: none"> 製菓作業に特化した日中活動の展開 製菓品売り上げの向上(InstagramなどSNSの活用) 就労支援プログラムの充実
本町事業所	管理者	久保田 智文	<ul style="list-style-type: none"> 新規施設外就労先や内職作業の開拓 既存の施設外就労の参加利用者の拡充
	就労継続支援B型リーダー	高辻 京	
すずかけ台事業所	管理者	田川 みゆき	<ul style="list-style-type: none"> 自閉スペクトラム症者への支援の充実 社会生活訓練の充実 作業の拡充 運動療法の充実 地域交流の充実 3グループ化による日中活動の充実
	サービス管理責任者	石橋 悠吾	
障害児通所支援事業所	管理者・児童発達管理責任者	小田 和晃	<ul style="list-style-type: none"> 自閉スペクトラム症児への支援の充実 療育活動の充実
	放課後等デイサービスリーダー	阿部 福美	
相談支援事業所	管理者	坂本 慶顕	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じた自立した日常生活や社会生活のための総合的な支援

令和5年度予算

科目	R5年度予算(a)	R4年度決算見込(b)	増減(a)-(b)
<事業活動による収支>			
就労支援事業収入	13,000	11,500	1,500
障害福祉サービス等事業収入	285,018	290,025	-5,007
経常経費寄附金収入	1,136	136	1,000
その他	1,717	17,17	0
事業活動収入計	300,871	303,378	-2,507
<事業活動による支出>			
人件費支出	192,552	181,823	10,729
事業費支出	30,867	27,914	2,953
事務費支出	32,900	32,853	47
就労支援事業支出	13,000	13,041	-41
その他	0	0	0
事業活動支出計	269,319	255,631	13,688
事業活動資金収支差額	※ 31,553	※ 47,748	-16,195

※ 端数処理を行っています。

予算の概要

令和5年度収支は、総じて利用者減や報酬単価見直しに伴い収入が減る一方、職員への給与増額やコロナ収束を想定した段階的な活動再開など積極的な事業展開を見込んでおり、同収支差額は、前年度比約66%の3155万3千円を想定しています。なおこの収支差額は中期運営計画比の約108%を確保しており、依然として健全経営を維持できると判断しておりますが、今後も利用者増や報酬増、経費削減などに努めてまいります。

なお、事業活動による収入は、前年度(令和4年度決算見込)比約99%の3億87万1千円を計上。同支出は、人材確保と国の賃上げ方針に呼応した職員給与の処遇改善(前年度比正規2.8%増、非正規2.4%増)、人材育成投資、原油・物価の高騰対策及びWithコロナに向けた外出活動やレクリエーション復活への取り組みなどにより、前年度比約105%の2億6931万9千円を計上しています。